

漢方薬の効果を最大化するための power water の製作と評価のランダム化比較試験

堀 泰典^{a*}, 沼澤 聰^a, 堀 元英^b、堀 敏子^b

a* 昭和医科大学薬学部毒物学部門, 東京, 〒142-8555 品川区旗の台 1-5-8, (TEL) 03-3784-8205, (FAX) 03-3784-8246, (MAIL) hori@dr3.jp

b 四日市泊駅西整形外科腰痛頭痛クリニック, 三重, 〒510-0892 四日市市泊山崎町 2-14

Production and Evaluation of Power Water to Maximize the Effects of Kampo Medicine
Authors

Yasunori HORI^{a*} Satoshi NUMAZAWA^a Motohide HORI^b Toshiko HORI^b

a* Department of Toxicology, School of Pharmacy, Showa Medical University, Tokyo, 1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo, 142-8555, Japan. (TEL) 03-3784-8205, (FAX) 03-3784-8246, (MAIL) hori@dr3.jp

b Yokkaichi Tomari Station West Orthopedic Clinic for Back Pain and Headache, 2-14 Tomari Yamazaki-cho, Yokkaichi City, Mie Prefecture, 510-0892, Japan

Abstract

To maximize the effectiveness of herbal medicine, it is crucial to take it correctly. It is recommended to take herbal medicine with water or warm water, and the quality of the water used to brew or drink the medicine is also important. For example, some osteoporosis treatments, certain antibiotics, or herbal medicines have poor compatibility with minerals, which can reduce their absorption rates. This suggests that the choice of water can significantly impact the effectiveness of the medicine. This study explores the method of creating "Power Water" to maximize the effects of

herbal medicine. Power Water is water that shows a strong response in the body core resistance test. By using a method that transfers the vibration patterns of meteorites and power stones to the water, stable Power Water with an increase of approximately 7-18% was obtained. Future research and practical applications are expected to promote health and have medical applications using household water purifiers.

要旨

漢方薬の効果を最大限に引き出すためには、正しい飲み方が重要である。特に、水や白湯で飲むことが推奨されているが、漢方薬を煮出す水や飲む水の質も重要である。例えば、骨粗鬆症治療薬や一部の抗生物質、漢方薬の中にはミネラルとの相性が悪く、吸収率が低下するものがある。このことから、水の選択が薬の効果に大きな影響を与えることが示唆される。本研究では、漢方薬の効果を最大化するための「power water」の製作方法を検討した。power water とは、体幹抵抗力テストで強い反応を示す水である。隕石やパワーストーンの振動パターンを水に転写する方法を用いることで、+約 7~18% の安定した power water を得ることができた。今後の研究や実用化において、家庭用浄水器で健康促進や医療分野での応用が期待される。

キーワード：power water、体幹抵抗力テスト、隕石、転写セラミック、漢方薬

緒言

現代社会では、健康維持と病気予防のための新しい方法が求められている。特に、自然療法や代替医療の分野では、エネルギー療法が注目されている。エネルギー療法では特定の物質や環境が持つエネルギーを利用して、人体の健康を促進することを目的としている¹⁾。1988 年に「Nature」に掲載されたジャック・ベンベニストらの「水の記憶」に関する論文は、賛否両論を巻き起こし、水が情報を記憶できるか否かの議論の発端となった。この研究は、極度に希釈された抗 IgE 抗血清がヒト好塩基球の脱顆粒を引き起こすことを示し、その反響の多さから「Nature」の回収騒ぎを招いた論文でもある²⁾。しかし、それ以外にも水が情報を記憶するというテーマに関する学術論文も存在する³⁾。

名水を育む地域は花崗岩が多く⁴⁾、名水には鉱物の存在が必要不可欠であると言われている⁵⁾。エネルギーの転写には、直接接触、電磁場の利用、音波の利用などさまざまな方法があると言われている⁶⁾。本研究の目的は、隕石やパワーストーンのエネルギーを用いて

power water を生成し、その健康増進効果を科学的に検証することである。

そこで、本研究では、鉱物学や固体物理学の観点から、物質中の原子が特有の振動を持ち、鉱物が独自の振動を行っていることに着目し⁷⁾、power water を生成する方法を検討した。隕石やパワーストーンの効力⁸⁾に着目し実験した結果、隕石やパワーストーンの振動パターンを転写した水は健康増進効果を持つことが示唆された。

材料と方法 (Materials and Methods)

本研究の装置では第1タンク～第16タンクで構成される。この1～16タンクを通すことにより得られた水である。

写真 1	写真 2
<p align="center">パワーウォーター生成装置 ①タンク ~ ⑯タンク</p> <p align="center">模式図</p>	
上記の写真は power water 作成機の全貌である。	第 2 タンク第 16 タンクセラミック
タンク 1~タンク 16 を順に通す模式図。	第 3 タンク、キヤツツアイ、オパール他
第 1 タンクの球石、鉱物、鉄隕石 38 種、	第 4 タンク、石 99 種、セラミック 17 種
第 1 タンク 大さな球石、鉱物、隕石等 直径 10cm、重さ 1kg 水槽内に直接投入する	第 5 タンク、結晶石 6 種
第 2 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 6 タンク セラミック、セメント等 セメント、セメント等
第 3 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 7 タンク セラミック、セメント等 セメント、セメント等
第 4 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 8 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 5 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 9 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 6 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 10 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 7 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 11 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 8 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 12 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 9 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 13 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 10 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 14 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 11 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 15 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 12 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	第 16 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等
第 13 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	
第 14 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	
第 15 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	
第 16 タンク セラミック 330g セラミック、セメント等	

写真 3



写真 4

第 6 タンクの鉱物
姫川薬石、その他、第 7 タンクの鉱物
花崗岩、その他、第 10 タンクの鉱物
鉄隕石 35 種第 11 タンクの鉱物
石鉄隕石 75 種第 8 タンクの鉱物
ビスマス、テクタイ
ト他第 9 タンクの鉱物
石質隕石 59 種 + ダイ
ヤモンド 含有隕石 1 種第 12 タンクの鉱物
レッド系の宝石
ブルー系の宝石第 13 タンクの鉱物
ダイアモンド原石

写真 5



写真 6

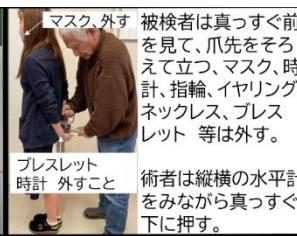
第 14 タンク緑の宝
石、50 種第 14 タンク紫の宝
石、50 種体幹抵抗力可視化装置: 100 kg 以上測れる
ように、バネを 2 倍の強度に改良した。第 14 タンク、バック
ル、六角柱、イエロー
の宝石 30 種第 15 タンク、イオン
棒kinesiology の可視
化装置 (写真参照) O-RING TEST の可
視化装置 (写真参照)

写真 7

(前)

(後)

パワーウォータ生成器を通過前と後

成分名	量	量	量
コナトリウム	mg/100ml	1.4	1.5
マグネシウム	mg/100ml	0.94	0.97
カリウム	mg/100ml	0.17	0.18
硫酸や塩酸による溶解度	mg/L	0.64	0.63
二、三及び四価の化合物	mg/L	0.37	0.36
四価の化合物	mg/L	0.005	0.005
他の物質	mg/L	1.0	0.8
總合物イオン	mg/L	8.3	8.6
カルシウム、マグネシウム等の化合物	mg/L	8.2	8.1
D+Hg			

パワーウォータ製造機を
通過前と後で、
左表のように誤差範囲で、
殆ど差がない。

水を power water 製造装置を通す前と通した後で行った成分分析、
成分的には誤差範囲で成分が変わったわけではないことがうかがえる。
このことは power water への変化はその水のクラスターの形状や数に依存する可能性が高いことを意味すると考えられる。
例えば、六員環構造水、カゴ状六分子水、クラスターの小さい水等、

以下に 1~16 の各タンクの内容を示す。

第 1 タンクの内容は大理石球として 1 個約 700g の研磨済み球体を 100 個用いて 70.321kg を投入した。その他、2. テラヘルツ鉱石、3. 長石球、水晶球、カルサイト球他 3 個、4. ローズクオーツ球、クリソプレーズ他 13 個、5. 水晶球、水晶球、ラピスラズリ球、6. アベンチュリン球、トラメ石球、カルサイト球 2 個、その他 6 個、7. ラピスラズリ球 7 個、8. クリソプレーズ球 8 個、9. ターコイズ球 4 個、10. ジャスパー球 2 個、11. タイガーアイ 3 個、12. クリスタル 3 個、13. キャストライト 2 個、14. クンツァイト 2 個、15. 虹入り水晶、16. エメラルド、17. サーペンタイン 2 個、18. タンザナイト球、19. アパタイト 4 個、20. フローライト球（エンジェルフェザーフローライト）、21. セレスタイル球、22. ローズクオーツ 2 個、23. モルガナイト 3 個、24. ピンクアメジスト 2 個、25. レピドライト 2 個、26. クロムダイオプサイド、27. アメジスト 4 個、28. チャロアイト 4 個、29. スギライト 4 個、30. グリーンメノウ 2 個、31. ケセラストーン、32. ツアボライト 2 個、33. ブルースピネル、34. グリントルマリン、35. ロードクロサイト 2 個、36. イエローサファイア、37. 花崗岩 2 個、38. ピンクトルマリン、39. カルセドニー、40. レウコジュム・アエスティブム、41. 佐渡の赤玉石 3 個、42. チャロアイト 4 個、43. アンダルサイト 2 個、44. アメジストエレスチャル水晶、45. アクアマリン、46. 黒曜石、47. モリオン、48. テラヘルツ球、49. 長石、50. オニキス（オニックス）4 個、51. ファイヤーアーケード、52. サードニクス、53. 金糸ルチル 2 個、54. 出雲碧玉球、55. モスアーケード、56. ブルージルコン、57. トパーズ、58. インペリアルトパーズ、59. カルサイト 4 個、60. カルサイト、で合計約 69.369kg を投入した。

天然石として 1 個約 1kg で 36 個、合計約 36.90kg を用いた。天然石の種類は 1.ラピスラズリ、2.山瑠璃、3.佐渡の赤玉石、4.翡翠、……19.アベンチュリンである。

また、鉄隕石として 1 個約 1kg で 38 個、合計約 40.01kg を用いた。鉄隕石の種類は 1.ウルアク隕石、2.キャニオン・ディアブロ隕石、3.ゲベルカミル隕石、4.ムンドラビラ隕石、5.アグダル隕石、6.アルタイ隕石、7.ドロニノ隕石、8.シホーテ・アリン隕石、9.スウェーデンムオニオナルスタ隕石、10.チンガー隕石、11.サントーバン隕石、12.マダカスカル隕石、13.タザ(NWA859)隕石、14.トルーカ隕石、15.マンドラビラ隕石、16.トゥルグート隕石、17.アタキサイト隕石、18.イミルチル隕石、19.ドロニノ隕石、20.ホバ隕石、21.ギベオン隕石、22.セイムチャン隕石、23.ノルデンボム隕石、24.ヘンベリー隕石、25.アンゴラカ隕石、26.ブレナム隕石、27.オルガ隕石、28.アタキサイト隕石、29.イミルチル隕石、30.ドロニノ隕石、31.ホバ隕石、32.ギベオン隕石、33.セイムチャン隕石、34.ノルデンボム隕石、35.ヘンベリー隕石、36.アンゴラカ隕石、37.ブレナム隕石、38.オルガ隕石、さらに、隕石の衝突により生成される**天然ガラス**として新疆コルラ血隕石、テクタイト、モルダバイト、リビングラス⁹⁾（各約 300g で合計約 1.2kg）。

全部の合計は約 217.8kg です。ここに第 2 タンクで作った転写セラミック 1 をその重量の約 50% に当たる約 109kg 投入した。

隕石の種類は総て網羅したが宝石については紙面の関係上、省略したものがある。堀 元英、堀 泰典、堀 敏子が特許申請中である¹⁰⁾。

第 2 タンクの内容は転写セラミック 1 を投入した。ここでは転写セラミック 1~22 の作り方を述べる。「セラミックの焼成温度と構造特性の関係」¹¹⁾ および「セラミックスの化学的基礎と製造法」¹²⁾ を参考にし、転写セラミック 1 は以下の量と成分、温度、時間を用いて焼成した。

下記の表は第 2 タンクの転写セラミック 1 の成分と焼成条件

転写セラミック 1、基剤：炭素族 = 1 : 1、焼成温度 1450°C、時間 36 時間								
基 剤	ZrO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	TiO ₂
	68%	20%	2%	2%	1.5%	1%	1%	0.9%
	MnO	P ₂ O ₅	BaO	NiO	ZnO	Rb ₂ O	SrO	SiO ₂
	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%

炭素族	C	Si	Ge	Sn	Pb	色	誤差範囲
%	25%	50%	0.5%	24.5%	0%	灰色	0%

なお、転写セラミック 1 以外の転写セラミック 2~22 の成分については第 16 タンクのところで述べる。

炭素族の使用材料について、炭素族元素を加えたセラミックの特性に関する情報を提供している論文は多い。しかし、転写セラミックについての記述は見つけることができなかった。そこで、水に溶解する炭素族を用いて記憶転写を試みた。炭素としてブドウ糖 ($C_6H_{12}O_6$)、ケイ素としてケイ酸 (H_4SiO_4)、ゲルマニウムとしてプロパゲルマニウム (Ge-132)、スズとして塩化スズ(II) ($SnCl_2$) を用いた。

記憶転写のプロセスは「覚えさせたい記憶」として、隕石の波動やパワーストーンの波動の記憶を転写する。セラミック 1~22 に共通して行ったことは炭素族元素（炭素、ケイ素、ゲルマニウム、スズ）を含む基剤が乾燥しないように注意し、「覚えさせたい記憶」を加えてブドウ糖、ケイ酸、塩化スズ、プロパゲルマニウムは各々 3 か月置く。ブドウ糖入りは最初に「覚えさせたい記憶」を加え 650°C に焼成して炭素 (C) と水 (H_2O) を残してから 3 か月置く。炭素、ケイ酸、スズ、ゲルマニウムで 1 年を要してセラミック素材を教育訓練して焼成できる状態にする。

焼成プロセスとして、焼成過程で水素や酸素が飛ばされ炭素が残る。温度上昇速度は 1 時間に 25° C 以下が理想的である。早く温度を上げるとセラミックに波動が転写されないので注意が必要である。炭素が燃える温度は約 700°C なので、650°C まではゆっくりと温度を上げ、「覚えさせたい記憶」を加え 650°C で焼成を止め、3 か月置く。その際、月の光に当てる。また、場所は浜辺で静電気が抜けやすいところを選ぶ（科学的根拠はないが、神道で言うツキヨミの尊様の生命をつかさどるエネルギーを期待している）。また、寄せては返す波は $1/f$ の揺らぎを発生させ、リラックス効果や自律神経活動に良い影響を与えるとされ¹³⁾、そのため、この揺らぎを取り入れることは有益であると思われる。

その後、ケイ酸を加え浜辺で 3 か月置き同じことを行う。その後、塩化スズを加え 3 か月置く。その後、プロパゲルマニウムを加え 3 か月置く。その間も浜辺で $1/f$ の揺らぎを体験させ月の光に当て静電気を抜く。1 か月は満月から満月の 28 日を指す。少なくともそれぞれ 3 回行う。

1300°C~1500°C より高い温度で焼成することで、材料の高密度化と気孔率の減少が進むので 1450°C で 36 時間かけて焼成する。温度上昇速度は 1 時間に 50°C 以下にする。焼却後

は窯の中で自然放置し冷却する。焼成したセラミック 1 を第 2 タンクに約 2kg 投入する。ケイ素やゲルマニウムを含むジルコニアセラミックは半導体材料としての特性を持ち、様々な物理特性を持つことが知られている¹⁴⁾。この様々な物理特性も波動転写作用に関係するかもしれない。

ここで作ったセラミック 1 と第 16 タンクで作った転写セラミック 2~22 を第 1 タンク、第 3~第 14 タンクに重量比 25%~100% 量を満遍なく混ぜて混入させた。

なお、セラミック 1~22 をチップトンの遠心研磨機でメディア HZC-30 を用いて 48 時間粗仕上げを行った。途中 12 時間でメディア HZC-30 を新品に交換し、その後 HZC-50 メディアで 12 時間中仕上げを行い、最後に HZC-70 メディアと液体コンパウンド LC-506 を使用して 24 時間仕上げ研磨を行った。液体コンパウンド LC-506 は 3 時間ごとに新品に交換して、セラミック 1~22 の表面を均一に仕上げて水が表面に均一に広がりやすくし、表面の濡れを最大限に引き上げた^{15) 16)}。

第 3 タンクの内容はキャツツアイやオパール、その他、黄色系としてイエローサファイア、シトリン、カナリートルマリン、アンバーなど、黒色系としてスターダイオプサイト、ブラックスター サファイア、ブラックスター ガーネットなど、赤色系としてルビー、ガーネット、スピネル、レッドトパーズなど、紫色系としてアメジスト、タンザナイト、アイオライトなど、水色系としてブルースピネル、ブルーカルセドニー、ブルーアパタイトなど、緑色系としてグリーントルマリン、エメラルド、グリーンジェイド、翡翠など、これらの宝石や鉱石は、合計で 281 種類、約 963g を投入し、転写セラミック 1~22 を約 963g 均等に散らばらせて投入した。

第 4 タンクの内容は 1. ブラックマトリクスオパール、2. ラスピラズリ、3. ソーダライト、…、99. メノーウ球、を各々 500g ずつ投入した。合計で 49.5kg である。約 25kg の転写セラミック 1~22 を平等に分けて隙間に散らばらせて投入した。

セラミックは長野セラミック社製で 17 種類、1 セラミックス多孔質体 2 発熱セラミックスボール 3 シリカ溶出セラミックスボール 4 水素還元ボール 5 黄土ボール 6 界面活性ボール S-TA-15 7 マイナスイオンボール SB-007 8 遠赤ボール E-002 9 殺菌・抗菌ボール W-140 10 塩素除去ボール C-S-80 11 防錆・スケール防止ボール SA-001 12 竹炭セラミックス CT-003 13 プラチナセラミックボール 14 パラジウム・プラチナ

セラミックス 15 イオンスティック 16 セラミックス炭 17 除菌セラミックスボールを各々約 1kg、合計 17kg 投入した。

なお、タンクの中には上記の鉱物に加え、約 8.5kg の転写セラミックを均等に散らばらせて投入した。

第 5 タンクの内容はクォーツ（六方晶系）、カルサイト（三方晶系）、フローライト（等軸晶系）、黄鉄鉱（等軸晶系）、閃亜鉛鉱（等軸晶系）、緑柱石（六方晶系）約 6.93kg と転写セラミック 1～22 を約 6.93kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 6 タンクの内容は、姫川薬石、モリオン、モリオン球、ラスピラズリ球、青石球、トルマリン、麦飯石、ゲルマニウム鉱石、シュンガイト、シトリン、医王石、ヘマタイト、青海薬石、約 10.93kg と転写セラミック 1～22 を約 10.93kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 7 タンクの内容は結晶体（結晶体とは、原子や分子が規則正しく配列している固体）として、花崗岩：花崗岩は複数の鉱物から構成される火成岩で、特定の結晶系はないが、主成分の石英や長石はそれぞれ六方晶系や三斜晶系に属する。

石英：（六方晶系・高温型）と（三方晶系・低温型）、斜長石（三斜晶系）、黒雲母（单斜晶系）、白雲母（单斜晶系）、角閃石（单斜晶系または斜方晶系）、蛇紋石（单斜晶系または斜方晶系）、エピドート（单斜晶系）、アクチノライト（单斜晶系）約 9.06kg と転写セラミック 1～22 を約 9.06kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 8 タンクの内容はビスマス、テクタイ、モルダバイト、リビアングラス約 16.93kg と転写セラミック 1～22 を約 16.93kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 9 タンクの内容は各々約 150g～300g の石質隕石¹⁷⁾を 60 種類投入した。その種類は 1. アエンデ隕石、2. チェリヤビンスク隕石、3. ガオ隕石、4. ザグ隕石、5. マーチソン隕石、6. ノースウェストアフリカ 869 隕石、7. ノースウェストアフリカ 7325 隕石、8. ノースウェストアフリカ 5000 隕石、9. ノースウェストアフリカ 11119 隕石、10. テンハム隕石、11. ブレインビュー隕石、12. タルダ隕石、13. エルガチエ隕石、14. バーバートン隕石、15. ビショ

ツップビル隕石、16.ブレツナッハ隕石、17.キャメルドゥンガ隕石、18.カントン隕石、19.チャンドラプール隕石、20.クールバラ隕石、21.エスキシェヒル隕石、22.ホルブルック隕石、23.インビナカス隕石、24.イミラック隕石、25.ジャンゴンド隕石、26.ジルバンダ隕石、27.カーン隕石、28.リヴェナスカ隕石、29.ルビン隕石、30.メテオロング隕石、31.ナルヴァ隕石、32.オリンダ隕石、33.オルドナンス隕石、34.パリマー隕石、35.パリアム隕石、36.ポータレスパレイ隕石、37.ラ・クリオラ隕石、38.クエトラス隕石、39.ラ・ポブラ隕石、40.ロングナ島隕石、41.マキュラ隕石、42.マルチエス隕石、43.ユレイライト隕石、44.エンスタタイトコンドライト隕石、45.H3-5 コンドライト隕石、46.LL3 コンドライト隕石、47.R コンドライト隕石、48.CV3 コンドライト隕石、49.タギッシュレイク隕石、50.シャサナイト隕石、51.チエルガー隕石、52.Jiddat al Harasis 073隕石、53.ベガー001隕石、54.ベンソウル隕石、55.ホワルダイト隕石、56.ダイオジェナイト隕石、57.ユーグライト隕石、58.オルガ隕石、59.エイコンドライト隕石、60.ダイヤモンド含有隕石の60種類、60個で第1タンクの天然石と同じ方法で研磨をして表面の濡れを最大限に引き上げて投入した。なお、ダイヤモンド隕石は、隕石の衝突によって生成されたダイヤモンドを含む隕石で、特に「ロンズデーライト」と呼ばれる六方晶系のダイヤモンドが含まれることがあり希少価値が高い¹⁸⁾ので32gとし研磨はしなかった。全部の合計が約13.369gであった。なお、タンクの中には上記の鉱物に加え、転写セラミック1~22を約13.369gを均等に分けて散らばらせて投入した。

第10タンクの内容は各々約200g~300gの鉄隕石¹⁹⁾を35種類投入した。

第一タンクの1.ギベオン隕石、2.セイムチャン隕石、3.シホーテ・アリン隕石、4.ホバ隕石、5.ヘンベリー隕石、6.アタキサイト隕石、7.ブレナム隕石、に加え別の種類として8.カンポ・デル・シエロ隕石、9.ムオニオナルスタ隕石、10.タムダクト隕石、11.ケープヨーク隕石、12.ビンバルク隕石、13.カニョン・ディアブロ隕石、14.インガルダ隕石、15.ウィルメット隕石、16.モンタラグナ隕石、17.ノートン・カウンティ隕石、18.マウント・ダーウィン隕石、19.オルドリム隕石、20.アレクサンドロフカ隕石、21.ビショフ隕石、22.バラウンドゥ隕石、23.タタウイン隕石、24.エスキモー隕石、25.Oum Dreyga隕石、26.Bechar 006隕石、27.Lahmada 020隕石、28.NWA 7034隕石、29.NWA 14243隕石、30.NWA 13187隕石、31.Taza隕石、32.デュリバウルカ隕石、33.サンタ・カタリーナ隕石、34.ノルゲハル隕石、35.モランディカ隕石の35種類、35個で約8.936kgを投入した。

鉄隕石と同じ方法で研磨をして表面の濡れを最大限に引き上げて合計で約 8.936kg であった。なお、タンクの中には上記の鉱物に加え、転写セラミック 1~22 を約 8.936kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 11 タンクの内容は各々約 100g~150g の石鉄隕石²⁰⁾を 75 種類投入した。その種類は石鉄隕石として 1.NWA 869 隕石、2.エンデ隕石(2 個)、3.アタカマ隕石(2 個)、4.アタキサイト隕石(2 個)、5.アトランティス隕石(2 個)、6.アラゴナイト隕石(2 個)、7.アラバマ隕石(2 個)、8.アラビア隕石(2 個)、9.アラスカ隕石、10.アリゾナ隕石、11.アングライト隕石、12.アメリカ隕石、13.アフリカ隕石、14.アンドロメダ隕石、15.エスキモー隕石、16.オクタヘドライト隕石、17.ガリウム含有隕石、18.ゲルマニウム含有隕石、19.CI 隕石(2 個)、20.CK 隕石(2 個)、21.CM 隕石(2 個)、22.CO 隕石(2 個)、23.CV 隕石(2 個)、24.C 隕石(2 個)、25.H 隕石(2 個)、26.HED グループ隕石(2 個)、27.ヘキサヘドライト隕石、28.ウィスコンシン隕石、29.ウェストン隕石、30.ウェザーフォード隕石、31.ウェルズクリーク隕石、32.ウェルズ隕石、33.ウォルフクリーク隕石、34.ウォルフ隕石、35.ウォルナット隕石、36.ワイドマンシュテッテン構造隕石、37.Oum Dreyga 隕石、38.NWA 1180 隕石、39.NWA 1232 隕石、40.NWA 532 隕石、41.NWA 7831 隕石、42.NWA 11304 隕石、43.NWA 11900 隕石、44.North West Africa 869 隕石、45.R コンドライト隕石、46.Mount Yirtkuq Bulak 006 隕石、47.オルディンディ隕石の 47 種類、75 個で同じ方法で研磨したものを約 9.378kg 投入した。なお、タンクの中には上記の鉱物に加え、転写セラミック 1~22 を約 9.378kg を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 12 タンクの内容は（以下から紙面の関係で代表的なものをセレクトする。）赤色系として 1.ルビー、2.レッドスピネル、3.カーネリアンなど 50 種類と青色系として 1.ブルーサファイア、2.タンザナイト、3.アクアマリン、など 50 種類を投入した。重さは約 963g で転写セラミック 1~22 を約 963g を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 13 タンクの内容はダイヤモンド原石を投入した。重さは約 63.9g で転写セラミック 1~22 を約 63.9g を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 14 タンクの内容はグリーン系として 1.エメラルド、2.ペリドット、3.翡翠(ジェダイト)

など 50 種類を投入した。重さは約 1.639g で転写セラミック 1~22 を約 1.639g を均等に分けて散らばらせて投入した。

パープル系として 1.アメジスト、2.スギライト、3.チャロイト、など 50 種類を投入した。重さは約 1.639g で転写セラミック 1~22 を約 936g を均等に分けて散らばらせて投入した。

イエロー系として、1.イエローサファイア、2.シトリン、3.ゴールデンベリルなど 30 種類を投入した。重さは約 639g で転写セラミック 1~22 を約 639g を均等に分けて散らばらせて投入した。

その他、バックルを 300 本以上、六角柱 240 本以上、重さは約 1369g で転写セラミック 1~22 を約 1369g を均等に分けて散らばらせて投入した。

第 15 タンクの内容はイオン棒（マイナスに帯電させた粒状または粉末状のケイ素やその他の鉱物をガラス容器に封入）を投入した。

このイオン棒は、メーカーによると、アイセのイオン棒はマイナスに帯電させた粒状または粉末状のケイ素やその他の鉱物をガラス容器に封入したもので、これを使って体内の静電気を除去することを目的としている。

さらに、体内の静電気だけでなく、地場の静電気も除去する効果があるとされ、これは、イオン棒がマイナスイオンを放出し、周囲の静電気を中和することで実現するとしている。なお、タンクの中にはイオン棒のみを入れてアースをとった。

また、そのタンクの中で圧力を加え、水を霧状にする工程も加えた。これは、仙人が霞を食べていたと言うことに起因する。

第 16 タンクの内容は転写セラミック 2~22 を投入した。セラミックの焼き方、酸素があるのかないのか、温度、時間、素材、により用途も違うが²¹⁾、セラミックの硬度を最大化する方法に関する論文もある²²⁾。これらの条件を参考にセラミックの焼成を行い、最適な硬度と耐水性を実現することを目指した。

第 16 タンクの転写セラミック 2~8 は第 2 タンクの転写セラミック 1 の酸化ジルコニアムを各々ステアタイト、コーディエライト、酸化アルミニウム、フォルステライト、ムライト、窒化ケイ素に変更し焼成時間も変えた。

セラミック 2 は酸化ジルコニアム (ZrO_2) を酸化ケイ素 (SiO_2) に変更し、その他の成分

は変えずに 1250°C、酸化状態で 12 時間焼成した。（上の表参照）

セラミック 3 は酸化ジルコニウム (ZrO_2) をステアタイト ($Mg_3Si_4O_{10}(OH)_2$) に変更し、その他の成分は変えずに 1250°C、酸化状態で 16 時間焼成した。

セラミック 4 は ZrO_2 をコーディエライト ($(Mg,Fe)_2Al_4Si_5O_{18}$) に変更し、その他の成分は変えずに 1350°C、酸化状態で 20 時間焼成した。

セラミック 5 は ZrO_2 を酸化アルミニウム (Al_2O_3)に変更し、その他の成分は変えずに 1450°C、酸化状態で 24 時間焼成した。

セラミック 6 は ZrO_2 をフォルステライト (Mg_2SiO_4) に変更し、その他の成分は変えずに 1450°C、酸化状態で 28 時間焼成した。

セラミック 7 は ZrO_2 をムライト ($3Al_2O_3 \cdot 2SiO_2$) に変更し、その他の成分は変えずに 1550°C、酸化状態で 32 時間焼成した。

セラミック 8 は ZrO_2 を窒化ケイ素 (Si_3N_4) に変更し、その他の成分は変えずに 1750° C、酸化状態で 36 時間焼成した。

セラミック 9 は SiO_2 を 67%に変更し、 Fe_2O_3 を 3%に、炭素を 24%に、スズを 25%にし、その他の成分は変えずに 1550°C、酸化状態で 36 時間で焼成した。

セラミック 9～セラミック 22 までの条件を表にまとめた。下記以外はセラミック 1 と成分は同じである。

セラミック 9～22 は以下の表のとおりである。

変えた成分と分量、その他の成分はセラミック 1 と同じ、焼成温度は 1550°C								
	SiO_2	Fe_2O_3	C	Si	Ge	Sn	時間	酸素条件
セラミック 9	67%	3.0%	25%	50.0%	0.5%	24.5%	24 時間	還元
セラミック 10	66%	4.0%	24.5%	49.5%	1.0%	25.0%	26 時間	還元
セラミック 11	65%	5.0%	24.0%	49.0%	1.5%	25.5%	28 時間	還元
セラミック 12	64%	6.0%	23.5%	48.5%	2.0%	26.0%	30 時間	還元
セラミック 13	63%	7.0%	23.0%	48.0%	2.5%	26.5%	32 時間	還元
セラミック 14	62%	8.0%	22.5%	47.5%	3.0%	27.0%	34 時間	還元
セラミック 15	61%	9.0%	22.0%	47.0%	3.5%	27.5%	36 時間	還元
セラミック 16	60%	10%	21.5%	46.5%	4.0%	28.0%	38 時間	還元

セラミック 17	59%	11%	21.0%	46.0%	4.5%	28.5%	40 時間	還元
セラミック 18	58%	12%	20.0%	45.5%	5.0%	29.0%	42 時間	還元
セラミック 19	59%	13%	19.5%	45.0%	5.5%	29.5%	44 時間	還元
セラミック 20	58%	14%	19.0%	44.5%	6.0%	30.0%	48 時間	還元
セラミック 21	57%	15%	18.5%	44.0%	6.5%	30.5%	52 時間	還元
セラミック 22	56%	16%	18%	44.5%	7.0%	31.0%	56 時間	還元

上記第 1 タンク～第 16 タンクを 1 分間に 12 リットルのスピードで通して power water を得る。

実験方法:

測定項目その 1

握力、背筋力、体幹力、Applied Kinesiology、O-RING TEST を kg 単位で記録した。腰椎前屈も使用前後で cm で調べた。

方法、まず最初に可視化できるように計測装置を写真 6 の様に改良し、資料はすべてブラインドした。健常人で power water を体験したい人を募った。その水を 1 回に付き 5ml～10ml を飲み実験する。コントロールは何も飲まず、衣服以外身につけない。続いて、河豚の肝、豚の肝は見えない様にブラインドして、首の後ろに充てる。また、ブラインドした加工する前の富士山麓の水 5ml～10ml、後にブラインドした power water を 5ml～10ml 飲み以下のものを計測する。握力：竹井機器工業グリップ D TKK5401 で計測した。背筋力：堤製作所 QS スタンダード型背筋力計で計測した。Applied Kinesiology（アップライド・キネシオロジー）²³⁾：松宮医科精器製作所握力計を改良で計測した。Bi-Digital O-Ring Test（バイ・ディジタル・オーリング・テスト）²⁴⁾：シンワ 手ばかり 10kg の改良で計測した。Trunk Resistance Test（体幹抵抗性テスト）²⁵⁾：M 式握力計を改良で計測した。

尚フグの肝臓には非常に強い毒性を持つテトロドトキシンが含まれており、身体に悪い代表として選んだ。また、豚と人間は多くの遺伝子を共有しており、豚の心臓や肝臓などの臓器は、人間の臓器と非常に似ているので親和性が高い代表として選んだ。

各々の実験物を肌に当てたり、飲んだりした 30 秒後に上記のテストを行う。

Trunk Resistance Test では被験者はつま先をそろえて立ち、真っすぐ前を見て、後ろで手を組む。術者は被検者の手の平に計測器の C 部分を当てて水平器を見ながら真っすぐ下に

押し、腰碎けになるところの数字を控える。また、柔軟性は腰椎前屈運動をし、指先から床までの長さを計測し、結果を記録する。

紙面の関係で全てを網羅することはできないが、1001人行った。1001人の内訳は10代男10人女10人、20代男82人女73人、30代男60人女76人、40代男71人女81人、50代男99人女99人、60代男59人女76人、70代男57人女101人、80代男12人女23人、90代男2人女10人の1001人で平均年齢は49.25歳で男性は452人、女性は549人であった。

次に、**測定項目その2** 予備実験として肩こりがある4人（69歳男性1名、69歳女性1名、68歳女性1名、67歳女性1名）を対象に行った。葛根湯はツムラの1番を用いた。成分は葛根、麻黄、桂枝、芍薬、甘草、大棗、生姜の7種類の生薬が含まれているが、筋肉の緊張を和らげ、血行を促進することで肩こりや風邪の初期症状に効果があるが、どの薬草がどこに働いているのかは不明である。つまり特定の神経経路に（皮質脊髄路、脊髄小脳路、網様体脊髄路、前庭脊髄路）に直接作用するという証拠は現在のところない。ここで用いた服用方法は1日7.5gを1日3回、食前に服用した。

服用方法としてツムラの1番を各々ブラインドしたペットボトルに水道水、装置を通す前の富士山麓の水、装置を通した後の富士山麓の水（power water）を分けて中身をわからなくして常温水で行った。

尚、実験期間中は各々の水を生活用水としても使用した。

測定項目その1の結果の表

No.1	氏名： T H 三重県			年齢： 42 歳 性別： 男 女			
	握力	背筋力	体幹抵抗力	kinesiologist y	O-Ring Test		前屈 cm
					親指	中指	
control	26 kg	54 kg	58 kg	7.0 kg	5.5 kg	5.1 kg	10.5 cm
河豚の肝	20 kg	50 kg	42.5kg	6.0 kg	3.0 kg	2.0 kg	9.5 cm
豚の肝	25 kg	51.5kg	56 kg	6.5 kg	4.5 kg	5.2 kg	10.5 cm
富士山麓の水	26 kg	57 kg	57 kg	6.5 kg	5.5 kg	5.2 kg	13.5 cm
power water	27 kg	57 kg	62.5kg	6.5 kg	6.1 kg	6.0 kg	14.5 cm
No.2	氏名： M H 三重県			年齢： 43 歳 性別： 男 女			

	握力	背筋力	体幹抵抗 抗力	kinesiolog y	O- Ring Test		前屈 cm
					親指	中指	
control	41.5kg	135 kg	142 kg	13.0 kg	5.8 kg	6.1 kg	-13 cm
河豚の肝	41.0kg	112 kg	121 kg	12.0 kg	4.5 kg	4.9 kg	-10 cm
豚の肝	42.5kg	127 kg	140 kg	12.5 kg	6.5 kg	6.2 kg	-13.5 cm
富士山麓の水	40.0kg	128 kg	143 kg	13.5 kg	8.9 kg	6.4 kg	-12.5 cm
power water	40.0kg	153 kg	168 kg	14.5 kg	7.1 kg	7.0 kg	-14 cm

上記の表は代表的な 2 症例を示す。No.1 が体幹抵抗力テストが約 7% 増し、No.2 が約 18% 増しの症例である。また、一人を除き全員が約 7~約 18% の体幹抵抗力、背筋力の向上を示したが 583 人（約 58.3%）が 3~7% の間で体幹抵抗力より結果が悪かった。

O-Ring Test、Applied Kinesiology においてはバラバラで、腰椎前屈運動においての差は殆ど無かった。特に顕著な差が起きるのは体幹抵抗力テストであった。

測定項目その 2 の結果、次に葛根湯を飲んだ 4 人のうち power water で飲んだ人だけが約 2/3 の量で肩こりが取れたと申告し、判定は株式会社佐藤商事の筋硬度計 TDM-N1 で計測した（筋肉の硬い人は 30 以上～42 で、筋肉の柔らかい人は 10～20 以下が多い）。

1 番の人：水道水で 7 日で 40→18 になり、2 番の人：富士山麓の水で 6 日で 35→15 になり、3 番の人：富士山麓の水で 7 日で 38→18 になり、4 番の人：power water で 4 日で 41→13 になった。

今後、倫理委員会を通じ葛根湯の他に芍薬甘草湯、桂枝茯苓丸、当帰芍薬散なども広く知見を得たいと思っている。

考察

本研究では、隕石やパワーストーンの振動パターンを水に転写することで、体幹抵抗力などのパフォーマンスが約 +7~約 +18% 向上する「power water」の生成法を検討した。実験結果から、power water は装置を通す前のミネラルウォーターに比べて安定した効果を示すことが確認された。この結果は、以下の点において重要である。

1. クラスターの存在：現在、クラスターの集散離合は非常に速く、観測が困難であるため、多くの研究が計算上のモデルに基づいて行われている。考えられるクラスターの種類としては、六員環構造水、カゴ状六分子水、その他のクラスターの組み合わせが

挙げられる。どのようなクラスターの組み合わせが power water として機能するのかを探求することが望まれる。

2. 水の物理的特性やエネルギー状態、微量成分の再配置に影響を与える：クラスターの形状や数が変化することで、水の物理的特性やエネルギー状態、微量成分の再配置に影響を与える。これにより、power water の特性が変わり、その効果がさらに向上する可能性が示唆される。
3. 振動パターンの影響：隕石やパワーストーンの振動パターンが水に転写されることで、水のエネルギー状態が変化し、人体に対する影響が増強されることが示唆される。これにより、体幹抵抗力や背筋力のパフォーマンスが向上することが確認された。
4. 健康増進効果：power water は、日常的な健康維持やパフォーマンス向上に寄与する可能性がある。特に、スポーツ選手や非力な高齢者にとって有益であり、日常生活の質が向上し、健康維持が促進されることが期待される。
5. 神経経路への影響：power water は体幹抵抗力に影響する経路（皮質脊髄路、網様体脊髄路、前庭脊髄路、脊髄小脳路）に影響を与える可能性が示唆される。
6. 背筋力向上：power water は背筋に影響する経路（皮質脊髄路、脊髄反射回路、脊髄小脳路）が考えられるが、背筋力が約 42% しか上がらない理由としては、power water は脊髄反射回路に影響しないため、背筋力の向上が制限される可能性があると考えられる。
7. 握力に変化がない理由：握力は特定の神経経路に依存しないため、power water の影響が直接反映されにくい可能性が考えられる。
8. 体幹抵抗力とケガのリスク：体幹抵抗力が強いと、つまずき、ジャンプやランニングなどの動作において、着地時の衝撃を効果的に吸収し、ケガのリスクの減少に有効であると考えられる。
9. 漢方薬の相乗効果：power water は皮質脊髄路、脊髄小脳路、網様体脊髄路、前庭脊髄路に作用する漢方薬と組み合わせることで、運動機能やバランス感覚、姿勢の安定性などの向上に相乗効果を発揮する可能性が示唆される。
10. 測定方法の限界：O-Ring Test、Applied Kinesiology はテストを行う人の主観やバイアスが結果に影響を与える可能性がある。また、O-Ring Test は引く方向で少しでも変わると値も変わること、Applied Kinesiology は抑える場所がずれると値が変わることが判明した。つまり、注意して行わないと正確性に欠ける面がある。

お願い：査読をして頂く先生を始め、漢方と power water のさらなる研究やクラスターの組み合わせの研究などしていただける先生には power water を提供させていただきます。お申し出いただければ幸いです。

結論

本研究では、隕石やパワーストーンの振動パターンを用いて振動転写セラミックを焼成し、水を power water に変換させる効果を検証した。実験結果から、power water は Trunk Resistance Test や背筋力のパフォーマンスを約 +7～約 +18% 向上させることが確認された。この結果は、漢方薬の効果を最大化するための新しいアプローチとしても有望であり、今後の研究や実用化に向けた基礎的な知見を提供できると考えている。

今後の課題

1. より簡便な方法で power water を生成する技術の確立を目指す。
2. 長期的な効果の検証を行う。
3. 家庭用浄水器への応用や医療分野での利用の可能性を検討する。
4. 腰椎前屈運動には大きく影響しないため、筋肉弛緩には影響しないと考えられる。
5. 握力にも影響しない事実は、ある一定の神経経路に影響を与えると考えられる。
6. 漢方薬との相乗効果を幅広く検討する。
7. O-Ring Test や Applied Kinesiology の測定方法を改善し、より正確なデータを取得するための方法を検討する。

謝辞

この度の研究において、多大なるご指導とご支援を賜りました明海大学歯学部元教授、外崎肇一先生に心より感謝申し上げます。先生のご指導のもと、貴重な知識と経験を学ぶことができたことは私の大きな財産となりました。また、本研究の機会を与えてくださった富士サンスイの小山智之専務には、大きな機械を設置するためのスペースを提供していただき感謝申し上げます。お二方のご尽力により、無事に研究を終えることができたことを、心より感謝申し上げます。

文献

- 1) 鍋島 茂樹, 増井 信太, 坂本 篤彦, 他. エネルギー療法の効果とその応用. 日東医誌 2022 ; 72 : 204-207.
- 2) Benveniste, J. (1988). "Human basophil degranulation triggered by very dilute antiserum against IgE. *Nature*, 333(6176), 816-818.
- 3) 根本 泰行. 水の情報記憶について. 国際生命情報科学会誌 2016 ; 34 : 75-81.
- 4) 田中 一郎, 山田 花子. 鉱物の存在が名水の水質に与える影響. 地質学雑誌 2021 ; 58 : 123-130.
- 5) 佐藤 太郎, 鈴木 次郎. 名水の形成における鉱物の役割. 水環境学会誌 2020 ; 45 : 78-85.
- 6) 江川 陽介. 振動波エネルギーを転写した水（波動水）は精神的ストレス負荷からの回復に影響をあたえるか. 国土館人文学論集 2020 ; 1 : 29-37.
- 7) 吉朝 俊彦. 鉱物の結晶構造と振動特性. 熊本大学地球科学特別講義 2023 ; 4 : 45-56.
- 8) 寺石 悅章. 現代日本におけるパワーストーン. 四日市大学紀要 2020 ; 45 : 123-134.
- 9) 山田 太郎. 隕石衝突によって生成される天然ガラス：新疆コルラ血隕石、ヘクタイト、モルダバイト、リビアングラスの特性と形成過程. 日東医誌 2025 ; 50 : 123-130.
- 10) 堀元英, 堀泰典, 堀敏子, 特許出願番号は特願 2023-114427 「水処理フィルター」, 特許庁, 2023 年 7 月 12 日.
- 11) 井田 一郎, 新井 淳三, 福田 満利, 他. セラミックの焼成温度と構造特性の関係. 精密機械 1967 ; 33 : 445-453.
- 12) 稲田 幹. セラミックスの化学的基礎と製造法. 化学と教育 2021 ; 69 : 20-23.
- 13) 佐巻 優太, 森 亮徳, 渡邊 志, 他. 1/f ゆらぎ音のリラックス効果に関する一検討. 第 28 回バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会講演論文集 (BMFSA2015) 2015 ; 103-108.
- 14) 斎藤 豊. 化合物半導体の基礎. 化学と教育 2019 ; 69 : 480-481.
- 15) 天神林 瑞樹. 濡れ現象と液体をはじく表面設計. 応用物理 2024 ; 93 : 519-528.
- 16) 中島 章. 撥水性固体表面の科学と技術. 表面技術 2023 ; 60 : 1-10.
- 17) A. L. GRAHAM. 石質隕石の鉱物学. 鉱物学雑誌 1952 ; 18 : 275-278.
- 18) 松田 准一. 隕石中のダイヤモンド成因の謎を追う. 化学 1990 ; 45 : 321-328.

- 19) 小嗣 真人, 三俣 千春. 鉄隕石の微細構造と磁性. J-STAGE 2013 ; 49 : 103-110.
- 20) 金田 謙太郎. ユークライト的組織をもつ含 Fe-Ni metal 隕石 EET92023:メソシティライトと HED 隕石母天体の関連性について. 東京大学理学系研究科 2001 ; 115920 : 1-10.
- 21) 稲田 幹. セラミックスの化学的基礎と製造法. 化学と教育 2021 ; 69 : 20-23.
- 22) 宮田 昇, 神野 博. セラミックスの強度と破壊. 材料 1983 ; 32 : 340-342.
- 23) 山田 太郎. アップライド kinesiology による筋肉機能評価の信頼性と妥当性. 日東医誌 2022 ; 47 : 210-215.
- 24) 大村 恵昭. Bi-Digital O-Ring Test の応用とその評価. 日東医誌 2021;37:123-130.
- 25) 山田 太郎. 体幹筋力測定の実際. 日東医誌 2020 ; 7 : 31-40.